

ちくぜん

2025
臨時号

緑あふれる豊かで便利な

とかいなか

～食に感謝し
平和を願うまち～



③ 雇用促進と商工業支援

企業の立地促進を通じて地域の雇用拡大や経済の活性化を図り、産業基盤の強化を目指します。また、久留米筑紫野線の4車線化や、県道77号線（山麓線）と国道200号との接続を進め、町へのアクセスがしやすい交通環境の整備を推進します。さらに、地元産業の魅力を発信する産業フェスタの支援や、振興券の助成などを通じて、地域経済の好循環を生み出していきます。加えて、今後の行政運営においては、デジタル技術（DX）の活用により、業務の効率化や住民サービスの向上を図りながら、時代に即した持続可能なまちづくりを目指します。

- 産業フェスタの支援
- 振興券の助成
- 食の仕送り便制度の継続
- 食肉センターの立地
- サン・ポートの施設更新
- 新たな企業立地
- 久留米筑紫野線4車線化

④ 農業と林業振興

本町では、自然環境を活かした農業・林業の振興に取り組んでいます。特に農業分野では、AIを活用した自動運転農業機械の導入を支援し、作業の効率化や省力化を図ることで、担い手不足や高齢化といった課題の解決を目指しています。加えて、小規模農家や高齢農家への支援を充実させ、誰もが安心して農業を続けられる環境づくりに取り組みます。こうした支援を通じて、地域全体の農業経営の安定と活性化を促進します。また、町内の農産物直売所の利用促進にも力を入れており、新鮮な地元産の農産物を届けることで、地産地消を推進するとともに、農業所得の向上にもつなげています。今後も、直売所の魅力を高める取り組みを継続していきます。

林業においては、町の面積の約3分の1を占める山林の整備と保全を進めるとともに、農業と林業を複合的に活用することで、新たな産業の創出と収益力の向上を図ります。これらの取り組みを通じて、自然と共に歩む持続可能な農林業の実現を目指します。

- AIを活用した自動運転農業機械導入支援
- 町内の農産物直売所の促進
- 小規模農家や高齢農家への支援



⑤ ふるさと納税増収と活用

行政の稼ぐ力として「ふるさと納税」の増収に積極的に取り組みます。魅力ある返礼品の充実や、情報発信の強化を通じて、町の魅力を全国に広め、寄附の拡大を図っていきます。集まった寄附金は、町民の暮らしをより良くするためのさまざまな施策に活用しています。また、ふるさと納税を通じて町外の方々にも町の取り組みを知っていただくことで、人口の創出や地域の活性化にもつながります。今後も、ふるさと納税の活用を通じて、町民サービスの向上と持続可能なまちづくりを目指します。

01

田頭町政さらなる挑戦 新たな4年間に向けた主な取り組み

田頭町政の新たなスタートにあたり、町長は「突破力」を掲げ、未来を見据えた舵取りを始めました。これからの4年間で重点的に取り組む施策をご紹介します。

① 子育てと福祉

学力向上やアフタースクールの充実、学童保育所の増築、体育館空調整備を図るとともに、すべてのこどもたちが安心して学び・育つ環境づくりを進めます。あわせて、紙おむつリサイクルの推進や高齢者の雇用創出など、環境と福祉の両面に配慮した取り組みも進め、多世代が生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

- アフタースクールの充実
- 学校、体育館の空調整備
- 民間保育所の誘致
- 学童保育所の増築
- ユニバーサルデザインの拡充
- 高齢者の雇用創出
- 給食費支援



筑前町長 田頭 喜久己

② 安全と平和な暮らし

知覧特攻平和会館との連携や、掩体壕の活用を通じて、戦争の記憶を次世代へと継承し、平和の尊さを伝える取り組みを進めます。こうした学びの場に加え、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、安全を支える基盤整備にも力を入れていきます。豪雨などの自然災害に備えたため池の整備をはじめ、パーティションや発電機などの導入による避難所環境の充実にも取り組みます。防災・減災の視点と平和への思いを大切にしながら、住民の命と暮らしを守るまちづくりを目指します。

- 知覧特攻平和会館との連携、掩体壕の活用
- 安全な暮らしづくり
 - ・ため池整備
 - ・避難所の充実（パーティション、発電機など）



令和7年度 主要施策

02で示した後期基本計画を基に、令和7年度に取り組む主要施策を紹介します。あくまで令和7年度の施策であり、後期基本計画に示している「取り組むべき方向性」「政策推進のための施策」すべてに該当するものがあるわけではありません。町は、全ての基本である人口問題を念頭に、「緑あふれる豊かで便利な とかいなか」の実現に向け、各施策に取り組みます。

※01で紹介した5つの取り組みに該当する施策には「町長重点施策」マークを付けています。
※表示単位未満は切り捨てています。

学ぶ

●教育環境の充実・DX

▶学びの場を整えます 予算額 2,441万円(教育課) 町長重点施策①

町内小学校の施設を整え、環境の充実を目指します。

▶学校の体育館を空調整備します 予算額 2,308万円(教育課) 町長重点施策①

熱中症対策をはじめ快適に学べる環境を整え、学習活動の充実を目指します。 ※令和7年度は設計を行います。

●義務教育からのグローバル人材の育成

▶世界で活躍する人材を育成します 予算額 95万円(教育課・生涯学習課) 町長重点施策①

令和7年度より中学校アフタースクールに「英会話コース」を新設しました。義務教育段階からグローバル人材の育成を目指します。

●地域活動と協働したスポーツの振興

▶グラウンド照明をLEDにします 予算額 7,133万円(生涯学習課) 町長重点施策①

水銀灯の生産終了に伴う三輪小グラウンド照明のLED化です。省エネルギーと維持管理の効率化を図り、安全で快適なスポーツ環境を整備します。

●文化の振興と歴史の継承

▶町民ホール・ふれあいホールを整えます 予算額 2,965万円(生涯学習課)

町民ホール、ふれあいホール設備の改修とプロジェクター購入費です。多様なイベントや発表の場として円滑に運営できるよう、舞台環境の充実と利用者の利便性向上を図ります。

●生涯学習の推進



守る

●頻発、激甚化する災害への対策

▶ため池を整えます 予算額 2,780万円(農林商工課) 町長重点施策②

近年の集中豪雨に備えた治水対策の一環として、藤ノ木下池、金山池の土砂の撤去や改善に向けた設計業務を委託します。地域の安全・安心を守るための整備を進めます。

▶川の土砂を取り除きます 予算額 1,642万円(建設課) 町長重点施策②

河川の浚渫(川底の土砂を取り除く工事)・維持工事費です。適切な管理を行うことで、洪水防止や水質の改善を図り、町の安全と豊かな環境の維持に努めます。

▶防災備蓄品を充実させます 予算額 7,963万円(環境防災課) 町長重点施策②

防災備蓄品(災害用パーティション・ベッド・トイレ、発電機)の購入費です。災害時における避難所の生活環境改善を図るもので、住民の安全と安心を支えるための備蓄体制を強化します。

▶防災体制を整えます 予算額 3,363万円(環境防災課)

坂根区内の防火水槽改修と消防団ポンプ車1台(第2分団)の更新費です。地域の防災体制を維持・強化し、万一の火災時にも迅速に対応できるよう、消防施設の機能向上を図ります。



総合計画後期基本計画

第2次筑前町総合計画後期基本計画が策定され、6月議会において承認されました。
総合計画とは、町の全ての計画の基本となるもので、2007年策定の第1次筑前町総合計画を経て、2020年に第2次筑前町総合計画を策定しました。後期基本計画の期間は2025年～2029年の5年間であり、前期基本計画(2020年～2024年)の進捗状況を踏まえた見直しのほか、社会・経済情勢の変化に伴う国県の動向を念頭に置いて策定されています。

町では、第2次筑前町総合計画の基本構想における5つの政策(学ぶ、守る、稼ぐ、支える、結ぶ)それぞれに対して、後期基本計画における「取り組むべき方向性」を定め、各政策推進のための施策に特に注力しています。

将来像

緑あふれる豊かで便利な とかいなか

②「とかいなか」とは…田舎暮らしと都会的な利便性・快適性を併せ持つ田園都市

政策	取り組むべき方向性	政策推進のための施策
学ぶ	■ 充実の教育環境を魅力に ■ グローバル人材の育成 ■ 平和を願い、命を大切にすること	● 教育環境の充実・DX ● 義務教育からのグローバル人材の育成 ● 読書活動の推進 ● 青少年の健全育成 ● 平和教育の推進 ● 文化の振興と歴史の継承 ● 生涯学習の推進 ● 地域活動と協働したスポーツの振興
守る	■ 安心安全な暮らしのために ■ 整備された生活環境で 快適な毎日	● 頻発、激甚化する災害への対策 ● 環境保全・循環型社会の推進 ● 防犯対策の充実 ● 機能的でゆとりある住まいの実現 ● 交通ネットワークの維持・効率化 ● 交通安全対策の充実 ● 道路網の整備、適切な維持管理 ● 上下水道の普及、維持、経営健全化
稼ぐ	■ 基幹産業である農林業に活力を ■ この町で稼ぐ楽しさやよこびを ■ 稼ぐ力を備えた地域づくり	● 農林業の振興、DX ● 商工業の振興 ● 雇用・就労環境の充実 ● 観光交流の推進 ● 道の駅を活用した地域経済活性化
支える	■ たくさんの笑顔に包まれる 幸せな子育て ■ 「食のまち」としての食育推進 ■ 希望に満ち活気あふれる未来へ ■ みんなでつくる「福祉のまち」	● 健康で生きがいのある暮らしの実現 ● 食育の推進 ● 切れ目のない子育て支援 ● 高齢者福祉の充実 ● 障がい福祉の充実 ● 社会保障の充実
結ぶ	■ 対話・共創・協働の社会 ■ 人権尊重のまちづくり ■ 住みたい 住み続けたいと思われる町に ■ 国籍や民族の文化的な違いを 認め支え合う	● コミュニティの活性化、再構築 ● 対話・共創の場の創出と活用 ● 移住・定住の推進 ● 人権教育・啓発の推進 ● ジェンダー平等社会の推進 ● 多文化共生社会の実現

支える

●食育の推進



▶ **お祝いのいちごを送ります** 予算額 224万円(総務課) **町長重点施策①**
町内の学校・幼稚園、保育施設などを卒業・卒園するこどもたちに、町の特産品である町内産のいちごを贈り、門出を祝います。

▶ **特産品を提供します** 予算額 80万円(農林商工課) **町長重点施策①**
こどもたちが地元の食材に親しみ、ふるさとの特産品を知るきっかけとなるよう、学校給食で町の特産品を提供する費用を助成します。

▶ **給食費を補助します** 予算額 7,069万円(教育課) **町長重点施策①**
町内小中学校の給食費の半額を補助します。「食」を通じて、こどもたちの健やかな成長を支援します。

●切れ目のない子育て支援



▶ **「食」を通した成長を見守ります** 予算額 1,216万円(こども課) **町長重点施策①**
町内の保育所等への給食支援金です。日々成長していくこどもたちに、安心して栄養のある食事を届けるための支援です。毎日の「食」を通じて、心と体の健やかな発育を見守ります。

▶ **こどもの居場所をつくります** 予算額 192万円(こども課) **町長重点施策①**
こどもが地域で健やかに過ごせる居場所づくりを推進するため、こどもの居場所を提供する地域の団体に対し、活動にかかる経費の一部を補助します。主にこども食堂を実施する団体に対する支援になります。

▶ **学童保育所を増やします** 予算額 1億73万円(こども課) **町長重点施策①**
中牟田小学校の第2学童保育所を新設します。学童保育所の受け入れ人数の増加により、共働き家庭を支援するとともに、こどもたちが放課後を安全に過ごせる場として健やかな成長を見守ります。

▶ **民間保育所を誘致します(下高場)** 予算額 2億2,154万円(こども課) **町長重点施策①**
保育所新設にかかる費用の一部を補助します。保育施設の整備により、待機児童を解消し、子育て世帯を支援します。

結ぶ

●コミュニティの活性化、再構築

▶ **少年大使館の照明をLEDにします** 予算額 500万円(企画課)
少年大使館の照明LED化です。省エネルギー化を進めることで脱炭素社会の実現に貢献し、環境にやさしい施設運営を目指します。

●移住・定住の推進

▶ **地域おこし協力隊を支援します** 予算額 303万円(企画課)
地域おこし協力隊による起業支援補助金等です。地域の課題解決や地域おこしの支援等を行いながら、地域への定住、定着につなげます。

●多文化共生社会の実現

▶ **外国住民も安心して暮らせる町にします** 予算額 40万円(企画課)
在留支援のためのやさしい日本語の行政情報パンフレット等の製作を行います。外国人住民の方々が安心して暮らし、地域社会の一員として生活できるよう、分かりやすく丁寧な情報提供を進めます。



守る

●頻発、激甚化する災害への対策

▶ **橋の長寿命化に取り組みます** 予算額 2,623万円(建設課)
橋梁2箇所の補修工事費や更新(架替)設計委託費などです。長寿命化を目的とし、安全で安心して通行できる橋梁の維持管理に取り組みます。

●道路網の整備、適切な維持管理

▶ **道路を整えます** 予算額 1億1,330万円(建設課) **町長重点施策③**
町道(6路線)の舗装・改良工事費および用地購入費などです。道路の安全性を高めるとともに、通行の利便性を向上させることを目的としています。地域の暮らしを支える道路の整備を進めることで、安心・快適な住環境の確保を図ります。

●防犯対策の充実

▶ **多目的運動公園の防犯体制を強化します** 予算額 260万円(都市計画課)
落雷の影響で故障した多目的運動公園「筑前ぼぼろ」の防犯カメラ補修費です。地域の皆さんが安心して利用できるよう修繕を行い、防犯体制の強化に努めます。

●機能的でゆとりある住まいの実現

▶ **公園を整えます** 予算額 1,536万円(都市計画課)
栗田桜木団地公園の遊具改修、三輪南公園の防犯カメラ、歴史の里公園の時計台改修費用です。利用者の安全性と利便性を高め、誰もが安心して過ごせる公園環境の維持管理に取り組みます。

●交通ネットワークの維持・効率化

▶ **公共交通を利用しやすくします** 予算額 336万円(企画課)
利用者の利便性向上のため、町内駐輪場の照明LED化、篠隈新道バス待合所のメンテナンス、高田駅の防犯カメラ設置等の整備を行います。

●環境保全・循環型社会の推進

▶ **使用済紙おむつをリサイクルします** 予算額 1,375万円(環境防災課) **町長重点施策①**
昨年夏に実施した実証実験を経て、今年4月から本格的に取り組みを開始しました。これまで燃やせるごみとして処分されていた紙おむつは、一般のごみと比べて多くの燃料を必要とし、それに伴いCO₂の排出量も多くなります。リサイクルを進めることで、限りある資源を有効に活用し、環境の保全と持続可能な地域社会の実現を目指します。

稼ぐ

●農林業の振興、DX



▶ **麦・大豆生産を効率化します** 予算額 1億6,155万円(農林商工課) **町長重点施策④**
地域農業の基幹作物である麦や大豆の生産性向上を図るため、生産技術の高度化に向けた農業用機械や施設の整備に対して補助を行います。効率的で安定した農業経営と地産地消の促進につなげていきます。

▶ **農道を整えます** 予算額 1,320万円(農林商工課) **町長重点施策④**
農業の基盤を支えるため、坂根地区農道の舗装工事を実施します。これにより、農作業の効率化や安全な通行環境を整え、農業の発展と地域の活性化を目指します。

▶ **スマート農業・林業による「とかいなか」を創造します(農林商工課)** **町長重点施策④**
農業や林業の人手不足に対応するため、IT技術を活用した農・林業の効率化を推進します。

●商工業の振興

▶ **食の魅力を発信します** 予算額 1,600万円(農林商工課) **町長重点施策③**
筑前の食を広くPRするため、町の味を町外の家族や友人などに贈る「ちくぜん食の仕送り便」の事業補助金です。

●観光交流の推進

▶ **町の魅力をアピールします** 予算額 509万円(企画課)
SNSでのフォトコンテストやモニターツアーなどの観光イベント、中学生が企画したイルミネーション装飾事業を行います。こうした取組を通じて町の魅力を町内外へ広く情報発信します。

04

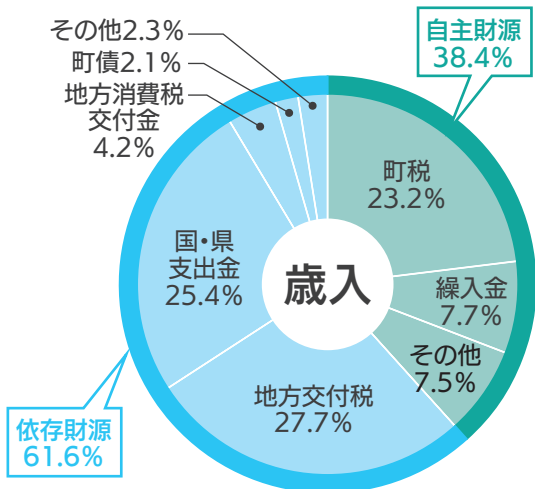
令和7年度 一般会計予算

03で紹介した主要施策を含む、すべての施策に必要な経費を見極め、とりまとめたうえで組まれた町の予算を紹介します。令和7年度一般会計当初予算は、4月に町長選挙が行われたため、骨格予算編成(※1)となりました。その後、6月定例会にて政策的事業を反映させた補正予算(肉付予算 ※2)が成立しました。

※1:政策的経費などの予算計上を避け、必要最小限度の経費を計上する予算 ※2:政策的経費や新規事業費などを加える補正予算 ※表示単位未満を四捨五入しており、端数の関係で数値が一致しない場合があります。

① 骨格予算 ② 補正予算(肉付予算) → 一般会計予算 161億5,394万円

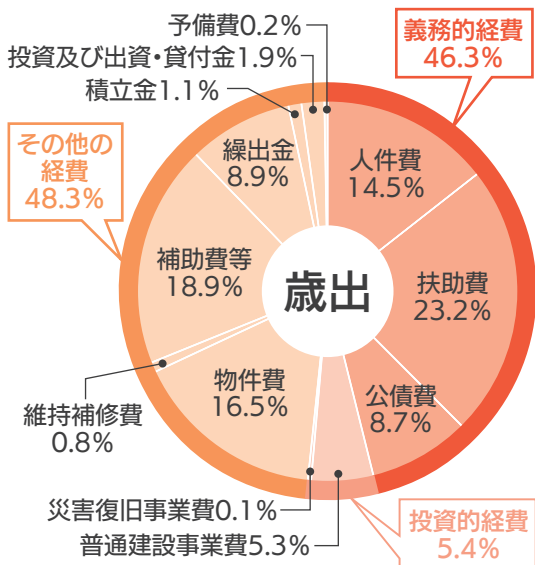
① 骨格予算 153億1,499万円



【歳入合計】153億1,499万円

自主財源	依存財源
町税…………… 35億5,255万円	地方譲与税 …… 1億5,049万円
使用料・手数料… 2億3,562万円	地方消費税交付金…6億5,000万円
分担金・負担金… 1億9,900万円	各種交付金(※) ……1億4,587万円
財産収入………… 1,765万円	地方特例交付金 …… 4,500万円
寄附金…………… 2億3,051万円	地方交付税 …… 42億3,804万円
緑入金…………… 11億7,900万円	国庫支出金 …… 24億2,355万円
緑越金…………… 2億円	県支出金………… 14億6,298万円
諸収入…………… 2億7,062万円	町債…………… 3億1,410万円
小計 58億8,495万円	小計 94億3,004万円

(※) 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、交通安全対策特別交付金で構成されています。



【歳出合計】153億1,499万円

義務的経費	その他の経費
人件費…………… 22億2,082万円	物件費…………… 25億3,287万円
扶助費…………… 35億4,724万円	維持補修費 …… 1億2,259万円
公債費…………… 13億2,624万円	補助費等………… 28億8,905万円
小計 70億9,429万円	緑出金…………… 13億6,307万円
	積立金…………… 1億6,818万円
	投資及び
	出資・貸付金… 2億9,270万円
	予備費…………… 3,000万円
	小計 73億9,845万円

投資的経費
普通建設事業費 … 8億1,904万円
災害復旧事業費 …… 320万円
小計 8億2,224万円

② 補正予算(第1号) 8億3,895万円

事業名(主なもの)	補正額
福岡県麦・大豆生産技術向上事業	1億6,155万円
定額減税不足額給付支援事業	9,900万円
防災備蓄品管理業務	7,964万円
スポーツ施設等維持管理業務	7,134万円
農村環境整備事業	2,781万円

事業名(主なもの)	補正額
学童保育事業	1,834万円
商工業振興事業事務	1,600万円
こども家庭センター事業(児童福祉分)	192万円
特産品の開発・振興事業	80万円
外国人住民生活支援事業	40万円